



2025 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名：フ ク ビ 化 学 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名：代表取締役社長 森 克則
(コード:7871 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先：広報・I R 推 進 室 長 柏 直 樹
(TEL：0776-38-8415)

フクビグループ リフォジュール株式会社の完全子会社化に関するお知らせ

当グループは、成長戦略の一環として、工事事業を推進・拡大するため、リフォジュール株式会社を完全子会社化することをお知らせいたします。

今回の完全子会社化は、2025 年 3 月 7 日の「組織変更に関するお知らせ」にてご案内しました、本年 4 月 1 日より東西のコンストラクションにかかわる部門と「メルツエン営業部」の 2 部門を統合する「建築工事統括部」との連携強化をはかり、分散している工事機能を集約し、生産性を向上させると同時に、営業力、製品力、工事ネットワークの強化を目的としています。

現在、リフォジュール株式会社の株主構成は当社が 90%、株式会社八木熊が 10%となっています。当社は株式会社八木熊より保有株式を買い取り、リフォジュール株式会社を完全子会社化いたします。

リフォジュール株式会社を完全子会社化することで、工事事業の推進・拡大を加速し、戦略実行のスピード化を図ります。これにより、営業機能の統合による営業エリアの拡大を見込み、全国でのサービス提供体制を構築します。

今秋の始動を目指しており、詳細が決まり次第、随時ご報告いたします。

【期待する効果】

- ・ 営業機能の統合により、北日本、東名阪を中心とした営業エリアの拡大。今後、全国へのサービス提供体制の構築を目指す。
- ・ 各部門が開拓してきた市場に対し、各部門が得意とする製品・サービスを掛け合わせ既存事業での効率性、生産性を高める。
- ・ 特に「リフォジュール社の UR・官公庁との関係」「メルツエン部門の断熱製品」「フクビ工事部門のネットワーク」を活用し、文教施設や公共住宅の断熱改修（フェノバボード、メルツエン内窓、膜天井など）を重点的に取り組む。
- ・ 効率性、生産性を高めることで創出されるリソースを収益性の高い新たな工事種目へ投入することによる効果も期待。
- ・ 工事管理業務の一体化とバックオフィスの効率化により創出されるリソースを戦略的に活用し、工事業対応のキャパシティの拡大を狙う。
- ・ グループ内にはない新技術や新工法の導入に対しては、外部組織との協働やアライアンスを活用し、専門性や顧客の利便性を高めることで、工事業の提供価値向上を目指す。

これらのシナジー効果により、同じミッションを共有するワンチームとして、分散している工事機能を集約し、工事業の生産性を向上させると同時に、営業力・製品力・工事ネットワークを強化し、発展を目指していきます。今後とも、皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

以 上

